



2021年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月12日

上場会社名 CDS株式会社

上場取引所 東名

コード番号 2169 URL <https://www.cds-japan.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芝崎 雄太

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理・財務部長 (氏名) 中嶋 國雄

TEL 052-587-5437

四半期報告書提出予定日 2021年5月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	1,985	12.2	229	28.6	326	10.8	224	21.1
2020年12月期第1四半期	2,262	33.1	320	27.1	294	32.5	185	31.2

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 231百万円 (32.0%) 2020年12月期第1四半期 175百万円 (35.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	32.95	
2020年12月期第1四半期	27.21	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第1四半期	8,379	6,645	79.3	974.44
2020年12月期	8,321	6,585	79.1	965.51

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 6,645百万円 2020年12月期 6,585百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期		30.00		25.00	55.00
2021年12月期					
2021年12月期(予想)		25.00		25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年12月期の中間配当金につきましては、創立40周年記念配当5円を含んでおります。

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,738	9.7	272	44.4	365	23.3	229	20.8	33.70
通期	8,419	6.6	885	17.5	970	0.2	617	10.8	90.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期1Q	6,924,400 株	2020年12月期	6,924,400 株
期末自己株式数	2021年12月期1Q	104,176 株	2020年12月期	104,176 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期1Q	6,820,224 株	2020年12月期1Q	6,820,269 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年からの新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、引き続き厳しい状況にありました。一時は感染者数も減少しましたが、第2回目の緊急事態宣言の解除後には再び増加傾向に転じており、依然として収束の目途は不透明であり、ワクチン接種の普及が望まれるところであります。

当社グループはドキュメンテーション事業、エンジニアリング事業、技術システム事業の3つの事業から構成されております。これら3つの事業の特色を組み合わせることで、自動車から各種情報家電、産業機器、FA機器、医療機器、教育関連、物流、食品、水産業、農業、観光、出版など幅広い業界に向けてサービスの提供をしており、またそれぞれの取引先企業における試験・解析から開発、生産、在庫管理、販売、保守、アフターサービスまでの各プロセスへのサポートも可能となっております。

当社グループでは、前連結会計年度から引き続きテレワークの実施や社内でのソーシャル・ディスタンスの確保、TV会議の活用といった感染防止を講じつつ事業活動を行ってまいりました。また同時に、役員報酬をはじめとする諸経費の圧縮にも努めてまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたのが当連結会計年度では期首からであったのに対し、前連結会計年度では第2四半期以降であったことから、当第1四半期連結累計期間の売上高と営業利益を前年同期と比較しますと減収減益となっております。具体的な当第1四半期の連結累計期間の業績は次のとおりであります。

連結売上高1,985百万円（前年同期比12.2%減）

営業利益229百万円（前年同期比28.6%減）

経常利益326百万円（前年同期比10.8%増）

親会社株主に帰属する四半期純利益224百万円（前年同期比21.1%増）

なお、経常利益の額が営業利益の額よりも大きくなっているのは、助成金収入99百万円を営業外利益に計上していることによります。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。（各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含みます。）

（ドキュメンテーション事業）

新型コロナウイルス感染症の影響により、売上高は763百万円（前年同期比6.3%減）、営業利益は217百万円（前年同期比13.9%減）の減収減益となりました。

（エンジニアリング事業）

新型コロナウイルス感染症の影響により民間の設備関係の受注が伸び悩んだことから、売上高は351百万円（前年同期比5.8%減）の減収となりました。しかしながら、売上高に占める教育関係の割合が前年同期と比べて大きくなったことと、製造工程の効率化を図ったことで、営業利益は76百万円（前年同期比41.2%増）の増益となりました。

（技術システム事業）

主要な取引先である自動車業界において、生産台数の落ち込みを要因とするコスト削減の動きがあったことにより、売上高は875百万円（前年同期比19.5%減）、営業利益は84百万円（前年同期比53.3%減）の減収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末の総資産は8,379百万円であり、前連結会計年度末より58百万円増加しております。内訳としては、流動資産は152百万円増加の4,764百万円、固定資産は94百万円減少の3,614百万円であります。

流動資産の変動の主な要因は、現金及び預金で345百万円、電子記録債権で53百万円の増加があった一方、受取手形及び売掛金で226百万円、仕掛品で44百万円の減少があったこと等であります。また、固定資産の変動の主なものは、投資その他の資産が70百万円(主に繰延税金資産)増加した一方で、有形固定資産が155百万円(主に建物及び構築物100百万円、土地47百万円)減少したこと等であります。

(負債)

負債は前連結会計年度末より2百万円減少し、1,733百万円となりました。内訳は流動負債が4百万円減少の1,724百万円、固定負債が1百万円増加の9百万円であり、流動負債の変動の主なものは、未払消費税等が40百万円、賞与引当金が212百万円増加している一方で、支払手形及び買掛金が94百万円、短期借入金が110百万円、未払金が80百万円減少していること等であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は6,645百万円であり、前連結会計年度末より60百万円増加しております。その要因は、主に利益剰余金が54百万円増加したためであり、これは親会社株主に帰属する四半期純利益224百万円の計上と配当金支払170百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今般の新型コロナウイルス感染症の流行による影響が不透明であることから、2021年2月12日に公表いたしました連結業績予想を変更しておりませんが、当該感染症の流行が当社グループの業績に及ぼす影響については、今後とも注視してまいります。業績予想の修正が生じた場合には速やかに公表いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,816,672	2,162,046
受取手形及び売掛金	2,073,187	1,846,848
電子記録債権	217,233	270,345
商品及び製品	42,083	36,572
仕掛品	167,509	122,543
原材料及び貯蔵品	27,212	25,196
その他	272,913	305,876
貸倒引当金	△4,447	△4,464
流動資産合計	4,612,364	4,764,966
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,824,143	1,724,035
土地	1,059,065	1,011,558
その他(純額)	156,442	148,542
有形固定資産合計	3,039,651	2,884,137
無形固定資産		
のれん	162,845	155,443
その他	82,975	80,722
無形固定資産合計	245,820	236,165
投資その他の資産		
その他	435,911	497,008
貸倒引当金	△12,640	△2,850
投資その他の資産合計	423,271	494,158
固定資産合計	3,708,743	3,614,461
資産合計	8,321,108	8,379,427
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	244,695	150,362
短期借入金	470,000	360,000
未払金	308,095	227,422
未払法人税等	101,725	141,090
未払消費税等	142,599	183,481
賞与引当金	154,788	367,445
受注損失引当金	1,586	76
製品保証引当金	8,148	3,101
その他	297,011	291,449
流動負債合計	1,728,651	1,724,430
固定負債		
退職給付に係る負債	4,544	4,646
資産除去債務	2,888	4,443
固定負債合計	7,433	9,090
負債合計	1,736,084	1,733,521

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	940,327	940,327
資本剰余金	1,171,768	1,171,768
利益剰余金	4,508,929	4,563,196
自己株式	△25,626	△25,626
株主資本合計	6,595,398	6,649,666
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△12,854	△6,347
為替換算調整勘定	2,479	2,588
その他の包括利益累計額合計	△10,374	△3,759
純資産合計	6,585,024	6,645,906
負債純資産合計	8,321,108	8,379,427

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	2,262,647	1,985,526
売上原価	1,516,976	1,370,200
売上総利益	745,670	615,325
販売費及び一般管理費	424,959	386,256
営業利益	320,711	229,069
営業外収益		
受取利息	8	8
為替差益	—	11
確定拠出年金返還金	258	313
売電収入	356	414
助成金収入	—	99,186
その他営業外収益	683	1,142
営業外収益合計	1,306	101,076
営業外費用		
支払利息	1,161	594
支払融資手数料	2,670	2,692
為替差損	672	—
解約違約金	18,856	—
その他営業外費用	4,225	616
営業外費用合計	27,587	3,903
経常利益	294,430	326,243
特別利益		
固定資産売却益	79	6,606
特別利益合計	79	6,606
特別損失		
固定資産除却損	5,627	1,777
特別損失合計	5,627	1,777
税金等調整前四半期純利益	288,882	331,072
法人税、住民税及び事業税	166,930	161,724
法人税等調整額	△63,682	△55,425
法人税等合計	103,247	106,299
四半期純利益	185,634	224,772
親会社株主に帰属する四半期純利益	185,634	224,772

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	185,634	224,772
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,289	6,506
為替換算調整勘定	10	108
その他の包括利益合計	△10,278	6,615
四半期包括利益	175,356	231,388
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	175,356	231,388
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ドキュメン テーション 事業	エンジニア リング事業	技術システ ム事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	814,794	369,779	1,078,073	2,262,647	—	2,262,647
セグメント間の内部売上高又は 振替高	234	3,535	10,390	14,161	(14,161)	—
計	815,028	373,315	1,088,463	2,276,808	(14,161)	2,262,647
セグメント利益	253,028	54,154	181,657	488,839	(168,128)	320,711

(注) 1. セグメント利益調整額△168,128千円には、セグメント間取引消去2,063千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△170,191千円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ドキュメン テーション 事業	エンジニア リング事業	技術システ ム事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	762,912	351,555	871,058	1,985,526	—	1,985,526
セグメント間の内部売上高又は 振替高	375	—	4,659	5,034	(5,034)	—
計	763,288	351,555	875,717	1,990,560	(5,034)	1,985,526
セグメント利益	217,829	76,470	84,826	379,127	(150,057)	229,069

(注) 1. セグメント利益調整額△150,057千円には、セグメント間取引消去3,723千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△153,780千円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。